

第19回高山駅周辺地区まちづくり協議会議事要旨

日 時 平成28年6月30日（木）13：15～13：55
場 所 高山市役所 2階 201・202 会議室
出席委員 12名

《会長あいさつ》

《議 事》

J R高山駅の東西出入口・自由通路の愛称決定について

匠通り内装展示品製作現場見学会について

高山市シビックコア地区整備計画の状況について

— J R高山駅の東西出入口・自由通路の愛称決定について事務局より説明—

— 匠通り内装展示品製作現場見学会について事務局より説明—

— 高山市シビックコア地区整備計画の状況について事務局より説明—

【会 長】 それではただいまご説明のありました3件の報告事項について、委員の皆様よりご意見を賜りたいと思います。

【委 員】 匠の技が日本遺産に認定されたということですが、自由通路にはそのことについての表記はされますか。

【事務局】 現時点ではそういった表記は考えておりません。日本遺産認定については、ことあるごとに皆さんに紹介していくよう進めておりますので、パンフレット等には掲載する予定です。

【会 長】 愛称決定について、市民の皆様に好意的に受け取っていただいていると伺っていますが、その辺の情報はありますか。

【事務局】 白山口については、審査時に旧高山地域からは白山は見えないという意見もありましたが、高山市の西端に位置する名山ということで決めたいただきました。市で報道発表させていただきましたら、荘川地区の皆さんから、これで高山市と一体になれたと思い大変喜んでいただいております。このように、こういうことがきっかけで他の方

にも波及していくということで、素晴らしいことだと事務局も喜んでおります。

【会 長】 大変良かったです。審査のお手伝いをさせていただいた1人として、私こそお礼を言いたいと思います。

【委 員】 地元の方はどちらが乗鞍でどちらが白山か分かりますが、観光客などはなかなか分からないと思いますが、表示案内について考えていますか。

【事務局】 表示案内については、矢印表示をしたうえで、「乗鞍口（東口）」というように表示しますし、英語と併用した表記にさせていただきます。

【委 員】 高山地方合同庁舎建設については、極力飛驒の木材を使っただけのよう市から国に要望していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【事務局】 既に動いております。木材利用推進協議会も今度要望に行くように段取りをしているところです。木造建築は無理ということですが、内装の木質化については十分お話をさせていただくつもりですので、よろしくお願いいたします。

【委 員】 県の事業について紹介させていただきたいと思います。高山駅前の県道については、まだ事業化されておりましたが、都市計画決定はされておりますので、市または県が整備することが可能です。市で道路西側を整備されましたので、県が道路東側を整備したいということになりました。事業化は難しいという話もありましたが、先般地元説明会をさせていただき、事業化の目途が立ちそうです。

この道路の車道は、対面通行がそれぞれ1車線で交差点が近いということで、付加車線も含めておおむね3車線ある車道に対して、歩道は西側が4.5メートル、東側が2メートル程しかない道路になっているため、都市計画決定の最大幅20メートルで整備したいということで、県も動き出すことになりそうです。

今年は測量と言いまして、現地に入って幅や高さ、境の位置を調査させていただく予定です。その測量結果を踏まえて、実際にどういう道路にしようかという設計の段階まで入っていきたいと思いますので、道路西側がか

なり綺麗になって道路東側が遅れた感じになりましたが、道路東側も今年、来年ということではなくて数年かかると思いますが、順次整備させていただいて、高山市の玄関口としてふさわしい整備をしたいと考えております。

【会 長】 どうもありがとうございます。国も県も精力的にご協力いただきありがとうございます。

それではご意見も尽きたようですので、本日の協議を終了したいと思います。